

高信頼性ICタグ

バーコードは読み取り位置指向

宇佐美光雄は決してバーコードを責めていることはありません。ただし、スーパーのレジでよく経験するように読み取り性には十分注意が必要です。

読み取り装置の改善などで2次元コードも小さなサイズで読み取りができるようになってきています。ただし、それは、読み取り面が読み取りやすい正しい位置にあるという前提です。

ですから、多数のものを高速に位置の厳しい制約なく読み取るという意味ではバーコードはまだまだ課題があります。高速で輻輳制御で読める高信頼性RFIDが必要とされている理由です。

数10GHzの周波数で読み取れる小さなアンテナ内蔵のRFIDチップが出現することが期待されます。

アンテナ内蔵であるため、外部アンテナとの接続が不要で、耐熱性含め高い信頼性が期待できます。また超高周波数帯であるため、通信距離を出しやすい特徴があります。